

令和5年度石神中 学校だより

いいところを伸ばす
信頼関係が基本
しがみつき 頑張れすぎずに頑張る
み 自ら学ぶ 自ら考える

令和6年1月30日発行〈第9号〉：南相馬市立石神中学校長

がんばろう能登!がんばろう北陸! ～困っている人たちを助きたい!生徒の思いがカタチになりました～

1月1日、まさに「お正月」のその日に起きた能登半島地震。「今すぐ逃げて!」と何度も繰り返されるアナウンサーの絶叫に、多くの大人は2011年の東日本大震災を思い出したのではないのでしょうか。その後、日が経てば経つほど明らかになる被害の大きさが、ますます13年前の記憶を鮮明にさせました。

始業式において、能登半島地震の被害状況の一部を、報道写真などを引用しながら生徒達と共有し、あらためて「災害はいつ起きてもおかしくない」「災害は人間の都合などを考慮してくれない」「浜通りに住む私たちは津波の怖さを忘れてはいけない」「自宅が山に面している人は土砂崩れの心配もある」「市で作っているハザードマップなども活用し、安全な避難行動について家族で話し合っていて欲しい」ことなどを伝えました。そして、「13年前は私たちが日本中・世界中の方々に助けってもらった。今度は、何か恩返しができる機会があったら、積極的に動いて欲しい」とも話しました。



翌日、生徒会役員の生徒が、担当の先生のところへ「校内で募金活動を始めたい」と相談に来ました。またボランティア委員会では、避難している方達が今本当に必要としている物はどんな物なのかを調べたりそれを送る手段はあるのかを調べ始めたりしました。

13年前は3歳や2歳だったはずの今の中学生達が、被害の状況や困窮する状況を見て、「自分たちにできることをすぐやろう」と動いたことは大変素晴らしいことです。この13年の間に各家庭で語り継がれてきたことが、生徒の思いやりや優しさを育てたのだと思います。

そのあとの動きはホームページなどでお伝えしてきた通りですが、始業式から3日目の放課後には募金箱の作成と設置、4日目の金曜日には全校生徒への呼びかけ、週が明けた15日～19日で募金を集め、22日には集計完了、24日の朝には信田沢郵便局から日本赤十字社の該当口座へ送金完了!となりました。

募金総額は、16万3109円に!!

生徒達がお年玉などの中から募金してくれたことはもちろんですが、保護者の方やご家族の方からもたくさんの募金を頂きました。生徒達の思いを後押ししていただき、活動の成果として自信をつけさせていただきました。本当にありがとうございました。



他人ごとではなく、自分ごとで! ～坪倉正治先生による「夢前案内人講座」～

1 / 30 (火)に、全校生を対象に講演会を行いました。先生が講演の中で繰り返し伝えてくださったことは、「皆さん一人一人が、この地域の主人公。この地域を守りたいと思ったとき、(災害などが起きて)この地域を守らなければならなくなったとき、誰かがやってくれるだろうと待つ側(他人ごと)ではなく、仲間とともに行動し、前に進める側(自分ごと)になって欲しい。」というメッセージでした。

＜講演後の生徒の感想より＞

<p style="text-align: center;">3年</p> <p>私は、「任せられている自分行動する」ということの大切さを先生の講義から学びました。</p> <p>1月1日にあった石川県の地震も、あまり興味や関心はありませんでした。</p> <p>ですが、東日本大震災のときに支援してもらったときみたいに私にもできることがあるの存在を考えました。</p> <p>見ているだけではなくて、自分ができることを探してみようと思ったし、今後の学校生活にも生かしていきたい存在と感じました。</p>	<p style="text-align: center;">3年</p> <p>私は、夢前案内人講演会を聞いて、将来の自分のことについてもう少し考えてみようかなと思いました。</p> <p>将来、自分が何になるのか、何をするのかはまだ分からないけれど、何かになりたいと思ったときに、その可能性をつぶさないよう、今から精一杯努力していきたいです。</p>
<p style="text-align: center;">2年</p> <p>初めて講演会というもの聞いて色々考えさせられることたくさんあったなと思いました。</p> <p>勉強は何のためにしているかということや未来への選たくしをふせしている人などということや未来への勉強は必要だなと思いました。</p>	<p style="text-align: center;">1年</p> <p>今日の話を聞いて、僕が思ったことは、僕の好きな化学をもう少しがんばってみようという所です。化学系の仕事に就くのは大変だと諦めていたのですが、先生のように、絶対に無理ということはないので、もう少し化学について勉強して、可能性を広げたいなと思いました。</p>

講演後に坪倉先生から、「あんなに真剣に話を聞いてくれて嬉しかった」と、お褒めの言葉をいただきました。先生の講演から何かをつかんだ様子は、ここに紹介したもの以外にも、多くの生徒達の感想の中に表れていました。

学校HP 石神中学校 または 南相馬市教育ポータル と検索!

